

目

加藤清正

加藤清正
編

加藤清正公

東京指針社發行

257

8
937

加藤清正公

(二調。四分ノ二拍子)

犬童信藏作曲

0 1 1 2 | 3 3 2 3 | 5 5 3 1 | 2 3 2 |
 (1) チ サ イ ト キ カ ワ ゲ ヌ キ ガ ヨ ク テ
 (2) い の ち か ら だ は な ん て も な い と

0 1 1 2 | 3 3 2 3 | 5 5 3 2 | 3 2 1 |
 イ ク サ コ ツ コ ヤ カ ケ ク ワ シ テ ヨ
 き み に つ か へ る ち ゅ う ぎ の こ こ ろ

0 5 5 3 | 5 5 5 3 | 6 6 5 3 | 2 1 2 |
 * ヌ ナ ロ ヌ ア モ ナ カ マ ノ ヨ ノ ニ
 と き の ひ と て は ほ か に は た れ も

0 1 1 2 | 3 3 2 3 | 5 5 3 2 | 3 2 1 ||
 マ ク ス カ ト ク ノ キ ヨ マ サ コ ウ ロ
 む な い か と う の き よ ま さ こ う よ

.....(10).....

加藤清正公

犬童信藏作歌

一、小さい時から元気がよくて

戦ごっこや駆けくらしても

本を讀んでも仲間の者に

負けぬ加藤の清正公よ

二、命からだは何でもない

君に仕へる忠義の心

時の人では外には居ない

えらい加藤の清正公よ

三、遠い朝鮮すみずみまでも

其名響いた鬼將軍の

聲を聞いたら泣く子もだまる

恐い加藤の清正公よ

四、兀良哈では馬から下りて

雲のむかうのお山を眺め

うちが遠いと涙を流す

やさしい加藤の清正公よ

.....(11).....

五、人を喰べたる大荒虎を

たつた一と突き三叉槍で

突いて鬻をとつたる人は

強い加藤の清正公よ

六、名古屋大阪熊本城と

天下三つの名高い城は

誰れが築いたと尋ねて見れば

やはり加藤の清正公よ

七、土地を拓いて川水引いた

そんなおかげで田がよく出来て

肥後のお米と評判させた

えらい加藤の清正公よ

八、太鼓たゝいてお珠數をもつて

からだ丈夫に仕合あれと

近い人やら遠くの人が

参る加藤の清正公よ

九、名さへ奇麗な錦の山に

えらいお方よ軍の神と

あがめ祭っていついつまでも

拜む加藤の清正公よ

三百年祭紀
念發行唱歌
加藤清正公終

(附 録)

有所權作著

刷印日四十月二年二十四治明

行發日七十月二年二十四治明

(錢五金價定)

編者

音樂研究會

發行者

前川一郎

印刷者

橫田五十吉

印刷所

橫田活版所

發行所

學海指針社

東京市日本橋區通旅籠町十一番地

東京市神田區松下町十番地

東京市神田區松下町十番地